



TITLE:

# $S^4 \times S^2$ 上のFree Involutionについて (特異点の位相幾何学)

AUTHOR(S):

松江, 広文

---

CITATION:

松江, 広文.  $S^4 \times S^2$ 上のFree Involutionについて (特異点の位相幾何学). 数理解析研究所講究録 1973, 170: 138-142

ISSUE DATE:

1973-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/107005>

RIGHT:

# $S^4 \times S^2$ 上の free involution

に つ いて

中央大 理工 松 江 友 文

$S^2 = \{ (x_1, x_2, x_3) \in \mathbb{R}^3 \mid x_1^2 + x_2^2 + x_3^2 = 1 \}$  とする。

$\alpha : S^2 \rightarrow S^2$  を  $\alpha(x_1, x_2, x_3) = (x_1, x_2, -x_3)$

により定義する。

$T : \Sigma^4 \rightarrow \Sigma^4$  を homotopy 4-sphere 上の smooth free involution とし  $(T, \Sigma^4)$  と書くことにする。

$A : S^4 \rightarrow S^4$  を antipodal map とする。

$T \times \alpha : \Sigma^4 \times S^2 \rightarrow \Sigma^4 \times S^2$  を  $(T \times \alpha)(x, y) = (Tx, \alpha y)$

により定義する。

$A \times \alpha : S^4 \times S^2 \rightarrow S^4 \times S^2$  も同様に

$(A \times \alpha)(x, y) = (Ax, \alpha y)$  により定義する。

すると次の定理が云える。

定理. 任意の  $(T, \Sigma^4)$  に対し,

$(\Sigma^4 \times S^2) / (T \times \alpha)$  は  $(S^4 \times S^2) / (A \times \alpha)$   
に diffeomorphic である。

(証明)

 $\Sigma^4 \rightarrow \Sigma^4/T$  の mapping cylinder を  $M^5$  とする. $\partial M^5 = \Sigma^4$ ,  $\exists W^5$  : contractible manifold.A. E.  $\partial W^5 = \Sigma^4$  $M^5 \cup_{\Sigma^4} W^5 = N^5$  とすると  $N^5$  は  $\mathbb{R}P^5$  に homotopy equivalent. $\mathbb{R}P^5$  と homotopy type の等しい smooth 5-manif.

は、次の Brieskorn involution の orbit space に diffeo.

$$V_{2k+1} = \{ (z_0, z_1, z_2, z_3) \in \mathbb{C}^4 \mid z_0^{2k+1} + z_1^2 + z_2^2 + z_3^2 = 0 \}$$

$$S^7 = \{ (z_0, z_1, z_2, z_3) \in \mathbb{C}^4 \mid z_0 \bar{z}_0 + z_1 \bar{z}_1 + z_2 \bar{z}_2 + z_3 \bar{z}_3 = 1 \}$$

 $k = 0, 1, 2, 3, \dots$  とすると, $V_{2k+1} \cap S^7$  は  $S^5$  に diffeo. それを  $S_{2k+1}^5$  とかき,free involution  $T_{2k+1} : S_{2k+1}^5 \rightarrow S_{2k+1}^5$  を

$$T_{2k+1}(z_0, z_1, z_2, z_3) = (z_0, -z_1, -z_2, -z_3) \text{ により}$$

定義する。すると homotopy  $\mathbb{R}P^5$  は  $S_{2k+1}^5 / T_{2k+1}$    
 ( $k = 0, 1, 2, 3$ )  
のどれかに diffeo であることがわかっている。上で作った  $N^5$  を  $S^5$  の free involution の orbit space

と考えると、その involution は明らかに desuspend

することがわかるから  $S_1^5/T_1$  か  $S_7^5/T_7$  のどちらかに

diffeo.

これらのことから次の2つの場合について定理を証明すべ

ばよい。

(i)  $N^5 = S_1^5 / T_1$ , この場合は  $\Sigma^4 / T$  と  $S^4 / A$  が

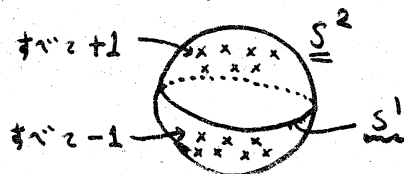
$k$ -cobordant であることより明らかに定理は云える。

(ii)  $N^5 = S_\eta^5 / T_\eta$ , この場合は次のようになる。

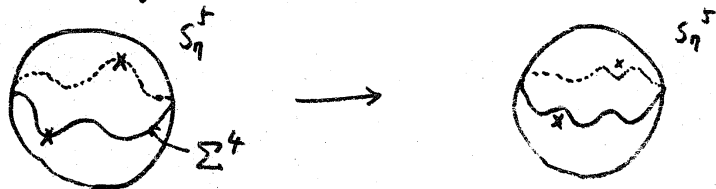
$$\begin{aligned} S^\eta \supset \underline{S^2} &= S^\eta \cap \{I_m \mid z_1 = z_2 = z_3 = 0\} \\ &\supset \underline{S^1} = S^\eta \cap \{z_1 = z_2 = z_3 = 0\} \end{aligned}$$

$(S^\eta - S_\eta^5) \rightarrow S^1$  なる Milnor fibering の 1 つの fiber と  $\underline{S^1}$  との交わりを調べることにより  $\underline{S^1}$  と  $S_\eta^5$  は  $S^\eta$  の中で linking number  $\eta$  で link していることがわかる。

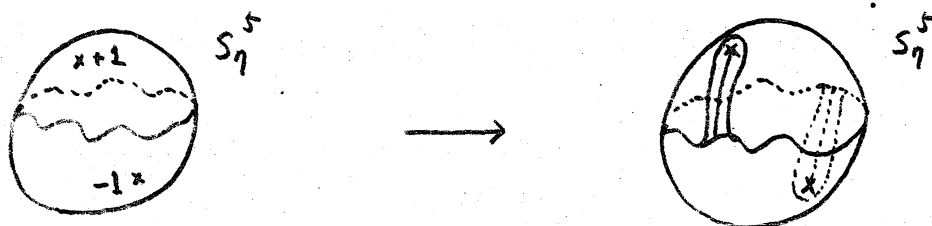
一方  $\underline{S^2} \cap S_\eta^5 = \{1410 \text{ の点} \}$  であり、これらの点は  $T_\eta$ -invariant である。 $\underline{S^2}$  と  $S_\eta^5$  に適宜に向きをつけてその交わりを調べてみると、 $\underline{S^1}$  と  $S_\eta^5$  の link の状態より次の図のようになる。



又,  $N^5 = S_\eta^5 / T_\eta$  としていることより  $(T_\eta, S_\eta^5)$  の中に invariant  $(T, \Sigma^4)$  があると考えよう。まず最初に、 $(T, \Sigma^4)$  を equivariant に  $S^2 \cap S_\eta^5$  がしばしばやる。



次に下図の操作をする。



この操作により  $S^7$  の中に  $(T, \Sigma^4)$  と equivariant diffeo. で,  $T^7$ -invariant な  $(T', \Sigma^{4'})$  で且つ,  $\Sigma^2$  と  $\Sigma^{4'}$  とは  $S^7$  の中で linking number 1 で link しているという二つをみたす  $(T', \Sigma^{4'})$  が得られる。

よって,  $S^7$  から,  $\Sigma^2$  と  $\Sigma^{4'}$  の equivariant tubular nbhd. を取り出したもの  $X^7$  は,  $S^4 \times \Sigma^2$  と  $\Sigma^{4'} \times S^2$  の間の  $T^7$ -invariant な  $k$ -cobordism を与えている。

一方  $T^7|S^4 \times \Sigma^2$  は  $A \times \alpha : S^4 \times \Sigma^2 \rightarrow S^4 \times \Sigma^2$  であり,

$T^7|\Sigma^{4'} \times S^2$  は  $T' \times \alpha : \Sigma^{4'} \times S^2 \rightarrow \Sigma^{4'} \times S^2$  と書ける。

いることは明らかである。故に  $X^7/(T^7|X^7)$  は,

$(S^4 \times \Sigma^2)/(A \times \alpha)$  と  $(\Sigma^{4'} \times S^2)/(T' \times \alpha)$  との間の  $k$ -cobordism.

$(T, \Sigma^4)$  と  $(T', \Sigma^{4'})$  が equivariant diffeo. であることより  $(\Sigma^4 \times S^2)/(T \times \alpha)$  と  $(S^4 \times S^2)/(A \times \alpha)$  とは diffeomorphic. Q. E. D.

この定理は, homotopy  $RP^5$  は Brieskorn involution の orbit space として, すべて表わされるという結果を用

いて証明したのであるが、次の事が云えていれば、ただちに  
 出る結果である。「homotopy  $RP^4$  はすべて  $RP^4$  に  
 $k$ -cobordant」。

ところが Cappell と Shaneson は、 $RP^4$  に、いくつかの  $S^2 \times S^2$  を connected sum したものに關しては、  
 homotopy type が等しいが  $k$ -cobordant ではないもの  
 が存在することを証明した。

しかし著者は、 $RP^4$  に關する結果に關しては何の手がかり  
 も得ていない。